

県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある

<ポイント>

- 1.生産……11月の鉱工業生産指数（2015年＝100、季節調整値）は99.7、前月比2.0%減と2か月連続で低下した。
- 2.民間設備投資…11月の建築物着工床面積（民間非居住用）は44千㎡、前年同月比61.5%減と2か月振りに前年水準を下回った。
- 3.住宅投資……11月の新設住宅着工戸数は1,389戸、前年同月比24.1%減と3か月連続で前年水準を下回った。
- 4.公共投資……12月の公共工事請負金額は189億64百万円、前年同月比31.6%増と3か月振りに前年水準を上回った。
- 5.個人消費……11月の百貨店・スーパー販売額（全店）は前年同月比0.4%増と2か月連続で前年水準を上回った。12月の乗用車販売台数は7,464台、前年同月比0.7%減と、4か月振りに前年水準を下回った。
- 6.雇用情勢……11月の有効求人倍率（季節調整値）は1.49倍と、6か月振りに上昇した。

<概況>

県内の生産活動は、生産指数が2か月連続で低下したものの水準面では底堅く推移しており持ち直している。設備投資は、当社の「茨城県内主要企業の経営動向調査（22年10-12月期）」（以下、企業調査）や日銀短観等の結果からは持ち直しつつある。住宅投資は、着工総数が3か月連続で減少するなど弱含んでいる。公共投資は、年度累計では前年水準を上回っており持ち直しつつある。個人消費は、行動制約の緩和を背景に、対面型サービスを中心に持ち直している。雇用情勢は、労働需給の改善が続いており持ち直している。

企業調査によると、10-12月期の自社業況総合判断DI※は、全産業ベースで▲18.1%と前期から概ね横ばいだった。製造業は生産などが持ち直しているものの、物価高などが景況感を下押しし前期（7-9月期）比0.4pt低下、一方非製造業は物価高の影響を受けつつも行動制約の緩和や観光需要喚起策の開始などが寄与し同2.6pt上昇であった。

以上を踏まえ、県内経済の基調判断は「資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある」と判断を据え置いた。先行きも持ち直しが続くことが期待されるものの、物価高が企業や家計にもたらす影響、資源・資材価格や為替水準の動向、海外経済減速の行方、新型コロナやインフルエンザの感染状況などについて引続き注視する必要がある。

自社業況総合判断DIの推移

（前年同期比・%ポイント）

| | 2021 | 2022 | | | | | 2023 |
|------|---------|--------|--------|--------|---------|--------|---------|
| | 10~12月期 | 1~3月期 | 4~6月期 | 7~9月期 | 10~12月期 | 前回予測 | 1~3月期予測 |
| 全産業 | 1.4 | ▲ 24.6 | ▲ 17.4 | ▲ 19.5 | ▲ 18.1 | ▲ 19.5 | ▲ 13.5 |
| 製造業 | 12.5 | ▲ 14.6 | ▲ 24.0 | ▲ 12.4 | ▲ 12.8 | ▲ 10.3 | ▲ 7.5 |
| 非製造業 | ▲ 5.2 | ▲ 31.2 | ▲ 12.8 | ▲ 25.0 | ▲ 22.4 | ▲ 26.8 | ▲ 18.0 |

※自社業況総合判断DI＝「好転」回答企業割合－「悪化」回答企業割合

生産は持ち直している

11月の鉱工業生産指数（2015年＝100、季節調整値（※1））は99.7、前月比2.0%減と、2か月連続で低下した。

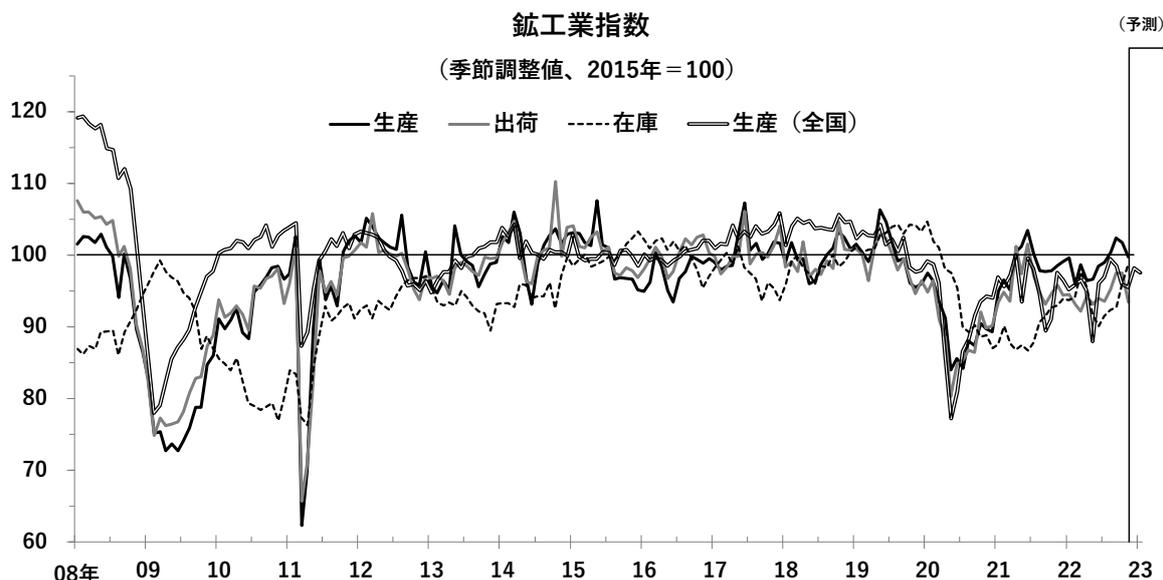
業種別の内訳について寄与度の大きい順でみると、食料品・たばこ（前月比4.6%増）や鉄鋼（同8.1%増）、生産用機械（同2.1%増）等が全体の指数上昇にプラスに寄与した。一方、輸送機械（同12.2%減）や電気機械（同10.4%減）、電子部品・デバイス（同25.8%減）等がマイナスに寄与した。

当社の企業調査では、10-12月期の製造業の生産判断DI（※2）は11.7%と前期（7-9月期7.9%）から3.8pt上昇した。企業ヒアリング(12月)では、原燃料価格高騰に伴う収益環境の厳しさを挙げる声が目立ったものの、「消耗材の受注が増えた」（その他製造業）、「（生産活動は）前年並」（一般機械）など、受注の底堅さを挙げる声が聞かれた。以上を勘案し、生産活動は全体として「持ち直している」との判断を据え置いた。

先行きについてみると、23年1-3月期の生産判断DIは1.1%、前期比▲10.6pt低下する見通し。企業ヒアリング（12月）では、「国内生産回帰を背景に（生産は）増加見通し」（電気機械）といった声があるものの、「先行き不透明で、引続き受注環境は厳しい」（金属製品）など、慎重な見通しを指摘する声が数多く聞かれた。

外需に関係する貿易面についてみると、11月の茨城県内税関3支署の輸出額は1,409億円、前年同月比44.9%増と14か月連続で前年水準を上回った。鹿島は鉄鋼が増加したものの有機化合物等の基礎化学品が減少し同9.4%減、日立（日立港・常陸那珂港）は自動車と同82.3%増、建設用・鉱山用機械が175.3%増と、ともに大幅に増加し、同89.0%増であった。

※1：原数値から季節的要因を調整した数値。※2：前年比で生産の「増加」と「減少」との回答割合の差



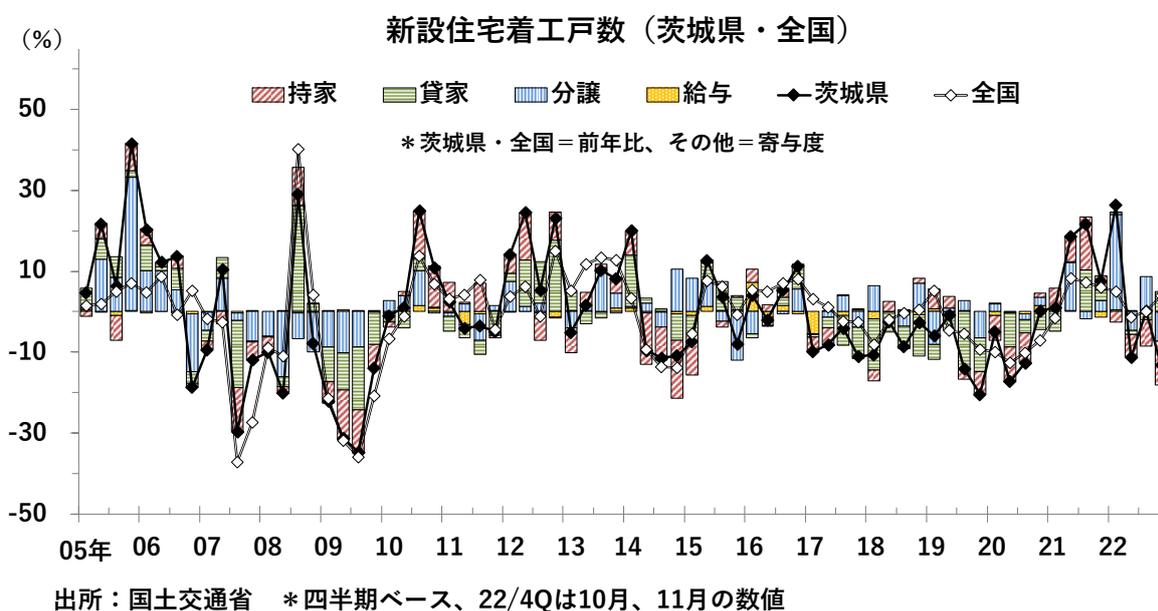
出所：経済産業省 * 月次ベース、全国の22年12月、23年1月の生産指数は製造工業生産予測指数をもとに算出

設備投資・公共投資は持ち直しつつある、住宅投資は弱含んでいる

11月の建築物着工床面積(民間非居住用)は工場や倉庫などの着工が減少したことで、44千㎡、前年同月比61.5%減と2ヶ月ぶりに前年水準を下回った。一方、日銀短観(茨城県、12月)によると、県内企業の22年度の設備投資額(金額ベース、ソフトウェアを含む<除く土地投資額>)は、全産業ベースで、前年度比31.3%増の見通しであった。当社の企業調査(12月)では、22年7-12月期の設備投資実施企業割合(件数ベース)は、全産業で55.3%と、当初計画(55.7%)比で横ばいを維持した。業種別にみると、製造業が60.0%と当初計画比1.3pt増、非製造業が51.6%と同2.3pt減であった。以上を総合的に勘案し、設備投資は「持ち直しつつある」との判断を据え置いた。

11月の新設住宅着工戸数は1,389戸、前年同月比24.1%減と3か月連続で前年水準を下回った。内訳をみると、持家は656戸、同22.7%減と3か月連続で減少、貸家は495戸、同1.6%増と2か月連続で増加、分譲住宅は231戸(うちマンション0戸)、同52.5%減と2か月連続で減少した。住宅投資は県南地域等で底堅い需要が窺えるものの、主力の持家に加え着工総数も3か月連続で減少したことを踏まえ「弱含み」と判断を引き下げた。

12月の公共工事請負金額は189億64百万円、前年同月比31.6%増と3か月振りに前年水準を上回った。内訳をみると、県内工事に占めるウェイトの高い県は大型案件の増加などにより同68.8%増、一方市町村は同14.9%減であった。公共工事請負金額は、10-12月期は前年同期比4.5%減と低迷したものの、年度累計(4-12月期)では前年同期比12.7%増と相応の水準を維持した。以上を踏まえ公共投資は「持ち直しつつある」との判断を据え置いた。先行きの公共投資も持ち直すと思われるものの、建設業者へのヒアリング(12月)では、「建設資材や運送コストの高騰に伴い、利益率が圧縮傾向」といった声をはじめ、引続き収益環境の厳しさを指摘する声が目立った。



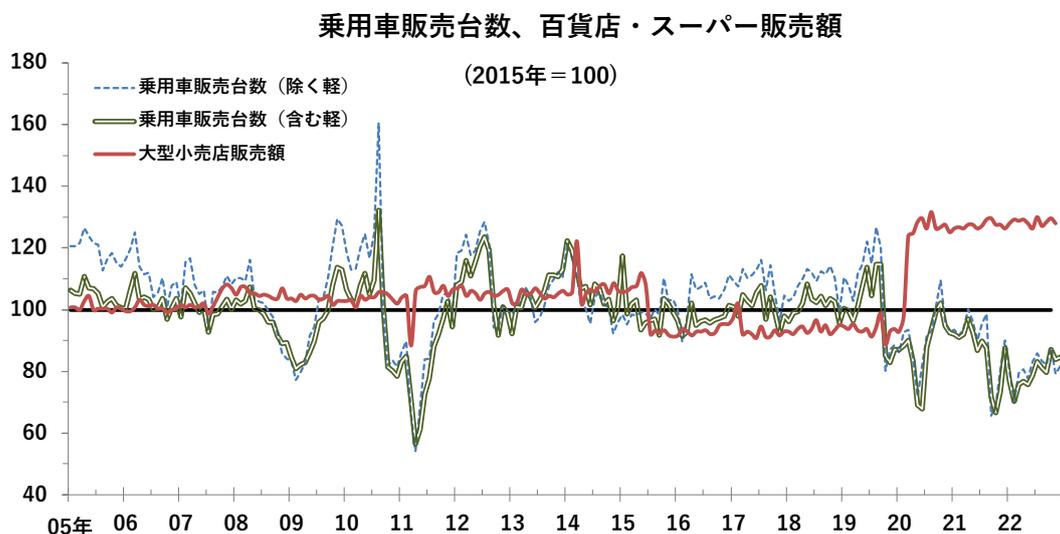
個人消費は持ち直している

12月の乗用車販売台数（乗用車新規登録台数＋軽乗用販売台数）は7,464台、前年同月比0.7%減と、4か月振りに前年水準を下回った。内訳は、普通乗用車が同6.2%減、小型乗用車が同16.7%減、軽乗用車は同22.7%増であった。四半期ベースでは、10-12月期は前年同期比10.3%増であった。乗用車販売台数は、供給制約の緩和に伴い持ち直しつつあるものの、自動車販売店からは新車の納車待ちの常態化を指摘する声も聞かれた。

11月の百貨店・スーパー販売額は、全店ベースで前年同月比0.4%増、既存店ベースも同0.8%増と、ともに2か月連続で前年水準を上回った。11月の専門量販店販売額は、家電量販店が同8.7%減と2か月連続で、ホームセンターが同2.2%減と2か月連続で前年水準を下回った一方、ドラッグストアは同6.2%増と19か月連続で、コンビニエンスストアが同5.9%増と12か月連続で前年水準を上回った。このところの供給サイドの販売額は業態による差異も伺えるものの、総じてみれば底堅く推移している。

11月の家計消費支出（水戸市）は、前年同月比8.4%増と9か月連続で前年水準を上回った。12月の「景気ウォッチャー調査－北関東－」の家計動向関連DIは47.2、前月比3.1pt増と2か月振りに上昇した。12月の企業ヒアリングでは「全国旅行支援の影響で、宿泊事業ではコロナ前を上回る売上を獲得できた」（宿泊・飲食業）、「行動制約の緩和で業況が良くなった」（プロスポーツチーム運営）といった声が聞かれた。

このように個人消費は、行動制約の緩和を背景に、対面型サービス業を中心にコロナ禍からの回復傾向が窺えることから、「持ち直している」と判断を引き上げた。先行きは、持ち直しの動きが強まることが期待される。もっとも、12月の消費者物価指数（水戸・総合）が前年同月比4.5%増となるなど消費者物価の上昇ペースは加速している。小売業からは「（物価上昇により）富裕層への影響はあまりないが、中間層の来店客数は減少してきている」との声も聞かれており、物価上昇が消費マインドに与える影響については引き続き注意が必要である。



出所：茨城県自動車販売店協会、経済産業省 *X-13-ARIMAによる季節調整値、月次ベース

雇用情勢は持ち直している

11月の雇用関連指標を季節調整値で見ると、有効求人倍率は1.49倍、前月比0.01pt増と6か月振りに上昇した。新規求人倍率は2.44倍、前月比0.03pt減と3か月振りに低下した。就業地ベースでの有効求人倍率は1.65倍、前月比0.01pt増であった。

有効求人数について雇用形態別にみると、正社員は前年同月比3.1%増、パート・派遣・契約社員等は同0.7%減であった。

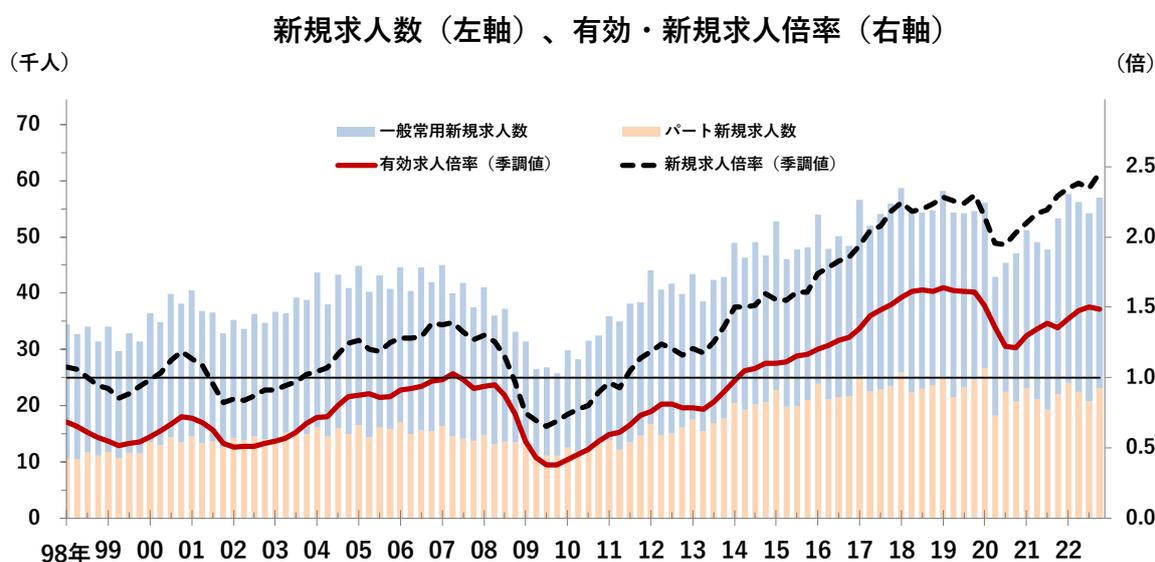
新規求人数は18,238人、前年同月比0.1%減と2か月連続で前年水準を下回った。新規求職者数も6,842人、同6.4%減と2か月連続で前年水準を下回った。

新規求人数（パートを除く）の内訳を産業別にみると、卸売業・小売業（同11.7%増）、製造業（同4.9%増）、運輸業・郵便業（同3.0%増）、建設業（同2.1%増）などで増加し、医療・福祉（同10.0%減）などで減少した。宿泊業・飲食サービス業は、同32.0%増と8か月連続で増加した。

失業者を示す雇用保険受給者数は7,967人、前年同月比8.4%減と18か月連続で前年水準を下回った。一方、事業主都合離職者数は443人、前年同月比64.1%増と3か月振りに前年水準を上回った。

このように雇用情勢は、指標によっては変化の兆しが窺えるものの、総じてみれば労働需給の改善は続いており「持ち直している」との判断を据え置いた。

なお、当社調査（12月）によると、県内企業211社における2022年の冬季賞与の支給状況は、全産業で前年比「増加」が32.4%（21年調査比0.8pt増）、「横ばい」が42.2%（同3.7pt増）、「減少」が6.6%（同2.3pt減）、「支給しない」が12.3%（同1.3pt減）であった。今冬の賞与支給状況が小幅ながら改善したことを踏まえ、物価上昇が続く中で実質的な所得環境の改善が続くかどうか、先行きの企業の賃上げの行方についても注目される。



出所：厚生労働省 * 四半期ベース、22/4Qは10月のみの数値

茨城県経済動向 基調判断の推移

| | | 基調判断 |
|------|----|--|
| 2019 | 5 | 県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きが続いている |
| | 6 | 県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きが続いている |
| | 7 | 県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きが続いている |
| | 8 | 県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きが続いている |
| | 9 | 県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きが続いている |
| | 10 | 県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きが続いている |
| | 11 | 県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの動きが続いている |
| | 12 | 県内経済は、持ち直しの動きが一服し、弱含んでいる |
| 2020 | 1 | 県内経済は、持ち直しの動きが一服し、弱含んでいる |
| | 2 | 県内経済は、持ち直しの動きが一服し、弱含んでいる |
| | 3 | 県内経済は、弱含んでいる <small>—新型コロナウイルスの感染拡大により、先行き懸念・不透明感が続く見通し</small> |
| | 4 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響により弱い動きとなっている <small>—先行きは更に悪化懸念</small> |
| | 5 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>—製造業・非製造業とも7割の企業で悪影響を実感</small> |
| | 6 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>—自社業況総合判断DIがリーマンショック後に次ぐ低い値に</small> |
| | 7 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>—先行きは感染の第2波の悪影響が懸念</small> |
| | 8 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>—個人消費は底入れしつつあるものの、生産の落ち込みが続く</small> |
| | 9 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響により落ち込んでいる <small>—方向感としては持ち直すも、生産などの低水準が続く</small> |
| | 10 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる |
| | 11 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる |
| | 12 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる |
| 2021 | 1 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる |
| | 2 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響から依然として厳しい状況にあるものの、一部に持ち直しの動きがみられる |
| | 3 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる |
| | 4 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる |
| | 5 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる |
| | 6 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる |
| | 7 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる |
| | 8 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる |
| | 9 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる |
| | 10 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる |
| | 11 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる |
| | 12 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる |
| 2022 | 1 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、持ち直しの動きがみられる |
| | 2 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、持ち直しの動きがみられる |
| | 3 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している |
| | 4 | 県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している |
| | 5 | 県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる |
| | 6 | 県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる |
| | 7 | 県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる |
| | 8 | 県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる |
| | 9 | 県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある |
| | 10 | 県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある |
| | 11 | 県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある |
| | 12 | 県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある |
| 2023 | 1 | 県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある |

各指標の動向判断の推移

| | | 生産 | 住宅 | 設備投資 |
|------|----|-----------------------------|--------------|--------------|
| 2021 | 12 | 持ち直しの動きが一服している | 持ち直している | 弱い動きとなっている |
| 2022 | 1 | 一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きがみられる | 持ち直している | 弱い動きとなっている |
| | 2 | 一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きがみられる | 持ち直している | 弱い動きとなっている |
| | 3 | 一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きがみられる | 持ち直している | 弱い動きとなっている |
| | 4 | 一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きがみられる | 持ち直している | 横ばい圏内で推移している |
| | 5 | 一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きがみられる | 持ち直している | 横ばい圏内で推移している |
| | 6 | 一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きがみられる | 持ち直している | 横ばい圏内で推移している |
| | 7 | 一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きがみられる | 足もとでは弱含みにある | 横ばい圏内で推移している |
| | 8 | 一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きがみられる | 弱含みにある | 横ばい圏内で推移している |
| | 9 | 一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きがみられる | 弱含みにある | 持ち直しつつある |
| | 10 | 一部に足踏みがみられるものの、持ち直しの動きがみられる | 持ち直しの兆しがみられる | 持ち直しつつある |
| | 11 | 持ち直している | 持ち直しの兆しがみられる | 持ち直しつつある |
| | 12 | 持ち直している | 持ち直しの兆しがみられる | 持ち直しつつある |
| 2023 | 1 | 持ち直している | 弱含みにある | 持ち直しつつある |

| | | 公共投資 | 個人消費 | 雇用 |
|------|------|----------|--|--------------|
| 2021 | 12 | 弱含みにある | 持ち直しの兆しがみられる | 持ち直しつつある |
| 2022 | 2 | 弱含みにある | 持ち直しつつある 一足元では新型コロナウイルスの感染急拡大により弱含み | 横ばい圏内で推移している |
| | 3 | 弱含みにある | 持ち直しの動きが一服している | 横ばい圏内で推移している |
| | 4 | 弱含みにある | 持ち直しの動きが一服している | 横ばい圏内で推移している |
| | 5 | 弱含みにある | 持ち直しの兆しがみられる | 持ち直しつつある |
| | 6 | 弱含みにある | 持ち直しつつある | 持ち直しつつある |
| | 7 | 持ち直しつつある | 持ち直しつつある | 持ち直しつつある |
| | 8 | 持ち直しつつある | 持ち直しつつある | 持ち直している |
| | 9 | 持ち直しつつある | 持ち直しつつある | 持ち直している |
| | 10 | 持ち直しつつある | 持ち直しつつある | 持ち直している |
| | 11 | 持ち直しつつある | 持ち直しつつある | 持ち直している |
| | 12 | 持ち直しつつある | 持ち直しつつある | 持ち直している |
| | 2023 | 1 | 持ち直しつつある | 持ち直している |

「茨城県経済動向」は旧常陽地域研究センター（常陽アーク）が
1969年より継続してまいりました月例調査を、
2019年4月以降、常陽産業研究所が継承・実施しているものです

表紙の通番は常陽アーク時の通番を引き継いでおります

常陽産業研究所
地域研究部
地域研究センター

- ・本資料は、当社が独自に集計・入手しているデータを除き、2023年1月23日現在で公に利用可能な統計指標に基づき作成されています。
- ・公開されている統計指標は、過去に遡及して改訂されることがあります。
- ・統計指標を利用する際は、常に最新の公表資料を参照する必要があります。
- ・本資料は、統計指標とそれに基づく判断が正確であるよう最善を尽くしておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に示した将来に関する全ての記述は、現時点での判断を示しているに過ぎません。